

"TOUGHNESS CUP" ジュニア空手道選手権大会 試合規約

平成28年11月現在

【試合時間】

◆準決勝戦迄◆	◆決勝戦◆
本戦 → 延長	本戦 → 延長 → 再延長(マストシステム)
1分30秒 1分(軽量勝利)	1分30秒 1分 1分

※延長戦以降は、サドンデスゲームとなる。

(サドンデスはポイント1の先取りかもしくは反則による減点1を科せられた時点で試合終了)

※マストシステムとは、審判が必ずどちらかの選手に判定を行うものである。

【勝敗】

一本	<ul style="list-style-type: none"> ○相手がダウンするか戦意を喪失した場合。 ○相手から技あり2回を奪う。(合わせ一本) ○相手からポイント3を奪う。(合わせ一本) ○主審、または医師が対戦相手に対して試合続行不可能と判断した場合。
技あり	<ul style="list-style-type: none"> ○相手がダウンしなくても正確に相応の打撃が入った場合。 ○相手からポイント2を奪う。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○上段への蹴り技(膝蹴りは除く)が的確に入った場合。 ○相手の回し蹴りに対し、中段前蹴りがカウンターで入り転倒した場合。
判定	<ul style="list-style-type: none"> ○組手：一本勝ち、またはドクターストップで決まらない場合、審判団のさいてんでにより決まる。 ○型：5人の審判による優劣判断により勝負を決める。
反則	<ul style="list-style-type: none"> ○反則による減点が2となった場合は反則負けとなる。 ※危険行為は注意2→減点1 注意3→失格 掴み注意3→減点1 減点は合算。

※審判は選手の安全を第一に考え、試合内容が危険と判断した場合に試合を中断する場合があります。

【判定基準】

一本>技あり>ダメージ>有効打(的確な攻撃)=減点・ポイントの有無>主導権>積極性



【反則】

A 危険行為	<ol style="list-style-type: none"> ①手技による顔面(首から上)への攻撃 ②頭突き ③上段膝蹴り ④金的・下腹部への攻撃 ⑤倒れた相手への攻撃 ⑥背後からの攻撃 ⑦関節部分に関節技、あるいは首への絞め技 ⑧主審の止めのコール後の攻撃
B 掴み等	<ol style="list-style-type: none"> ①相手を掴むこと ②相手を投げること ③相手の腕を押さえること ④胸をつける行為 ⑤頭をつける行為 ⑥掌底・拳で相手を押す行為
C その他	<ol style="list-style-type: none"> ①故意に場外に逃げる(3回で注意1、4回で減点1、5回で失格) ②主審の指示に従わない(悪質な場合は失格) ③技のかけ逃げ ④対戦相手・審判への野次・暴言(セコンドも含む) ⑤過度な反則のアピール ⑥以上の他、審判員が特に反則とみなしたとき

【失格】

- ①試合中、審判員の指示に従わない場合
- ②出場時刻に遅れ場合
- ③見合ったままの状態でも30秒以上経過した場合、双方失格となる
- ④粗暴な振る舞い、悪質な試合態度と見なされた時
- ⑤減点を2回重ねた時
- ⑥各階級規定の体重をオーバーした時
- ⑦規定以外の道着を着て試合をした時
- ⑧反則行為により対戦相手が試合続行不可能となった時

※規定に定められていない問題が生じた場合、大会審判長と審議委員の協議によって処理する。

【防具規定】

●各自用意

○主催者用意

△任意着用

—着用無し

	幼年男女	小学生男子	小学生女子	中学生男子	中学生女子
拳サポーター(布製)	●	●	●	—	—
スネサポーター(布製)	●	●	●	●	●
ヒザサポーター(布製)	△	●	●	●	●
指なしパンチンググローブ	—	—	—	●	●
金的ファールカップ	△	●	—	●	—
ヘッドガード(自前使用可)	○	○	○	○	○
インナーチェスト	△	△	△	△	△
スポーツブラ	—	—	●	—	●
アンダーガード	△	—	●(4年~)	—	●
マウスピース	△	△	△	△	△

※インナーチェストは任意です。

※小学4年生女子～中学生女子はインナーチェストかスポーツブラを必ず着用してください。

※ヘッドガードは主催者が用意した物と同形状であれば、使用可能です。